

大館市立田代中学校 職場体験学習  
平成30年8月2日（木）、3日（金）

田代中学校の職場体験は平成28年度から受け入れており、今年は2日間にわたって2年生5名を受け入れました。今年度は森林管理署の仕事に加え、造林作業の体験や製材所の見学などもとり入れ、地域の林業や木材産業について広く学べるプログラムを用意しました。

<1日目>

①座学

まず、岩野目森林事務所において、署オリジナルの学習帳を用いて1時間程度の座学を行いました。木が育てられ、伐採・搬出され木材に加工されるまでの流れや、森林管理署や林業、木材加工に関わる仕事についてクイズを交えながら学んでもらいました。生徒からは「いつ植えたかといった情報はどのように分かるのか?」といった質問もあり、調査簿や図面を用いて林小班ごとに情報を細かく記録、管理していることを説明しました。



座学の様子

②収穫調査体験

次に、平滝自然観察教育林へ移動し、収穫調査の体験として測樹を行いました。ブルーメライスやバーテックスを用いて木の樹高を、輪尺で直径を測りました。それらの結果をもとに、立木材積表から木の材積を求め、「家を一軒建てるには何本の木が必要か」を計算し、立木と木材についてイメージをつかんでもらいました。



測樹体験の様子

③施業モデル団地の見学

午後からは、教育林近くの「平滝スギ人工林施業モデル団地」を見学し、国有林では様々な試験研究を行っていることを説明しました。

また、その中にある複層林の試験地を見学し、複層林の特徴や、多様な森林づくりの方法があることを学んでもらいました。

#### ④下刈り・植付け体験

1日目の最後に、造林作業として下刈りと植付けを体験してもらいました。職員が下刈り鎌の使い方を解説した後、生徒たちが交替で下刈りを行いました。その後、ディブルを用いてコンテナ苗を植え付けました。生徒たちは、最初は少し手間取っていましたが、すぐに慣れ、素早く苗を植え付けていました。暑い中での作業でしたが、約100本の苗を植えることができました。生徒たちからは「大変な仕事だが、このようにみんなで協力して行う仕事は楽しかった」との感想が聞かれました。



下刈り、植付け体験の様子

#### <2日目>

##### ①生産現場見学

はじめに生産現場の見学を行いました。ここでは北鹿新聞による取材もありました。

まずはチェーンソーでの伐倒を見学しました。安全な場所まで離れていても、木が倒れる際には大きな音と衝撃が感じられ、生徒たちも驚いたようでした。その後、フェラーバンチャーによる伐倒、ブレイカーを用いた岩の破碎、プロセッサによる造材作業など、伐採現場での様々な作業を見学しました。最後に、事業体の作業員の方から「林業は自然の中での時間に縛られない仕事」、「自分で考え、頭を使う面白い仕事」といった話があり、生徒たちは興味深そうに聞いていました。



生産現場見学の様子

## ②製材工場見学

午後からは、地元の製材工場を訪れ、これまで山で見てきた秋田スギの丸太が集成材用のラミナへ製材される様子を見学しました。生徒たちは山の木が木材製品として私たちの手に届くまでの流れを理解できたようでした。



製材所見学の様子

## ③まとめ

最後に、森林事務所において職場体験学習のまとめを行いました。生徒たちからは署の職員へ様々な質問があり、「なぜこの仕事を選んだのか」という質問には、職員から「自然環境の保全と林業という産業の両方に関わる面白い仕事だと思ったから」といった回答がありました。また、林業が地域の重要な産業であること、森林を管理することは自然環境の保全や災害の防止にくわえ、木材を生産し持続可能な社会を作る夢のある仕事であることをお話ししました。「勉強にもスポーツにも励み、自分のやりたいことを見つけてほしい」と将来を考える上でのアドバイスもお話しし、無事、2日間の職場体験学習を終えました。

<おわりに>

今回、生徒たちはもともと地域の森林や林業について関心があって当署の職場体験を希望したようでした。2日間の職場体験では、造林から木材加工までの現場を見学し、地域の森林や林業について学んでもらいました。また、署職員のほかにも林業や木材加工業で働く地元の人たちの生の意見を聞き、働くことの大変さ、面白さを感じてくれたと思います。生徒からは「林業で働いてみたいと思った」と嬉しい感想もありました。今後も、地域の森林や林業に興味を持ち、将来の選択肢の一つとして考えてもらえれば嬉しく思います。

職場体験学習にご協力いただきました（有）関善林業様、（有）花田造材部様、（有）幸坂木材様、ありがとうございました。